

2025年度後期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	心理教育学科	履修者数	1,805
------	--------	------	-------

回答者数	1,299
------	-------

学年 マーク	回答者数／構成比 (%)				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	547 42.1	488 37.6	217 16.7	47 3.6	0 0.0

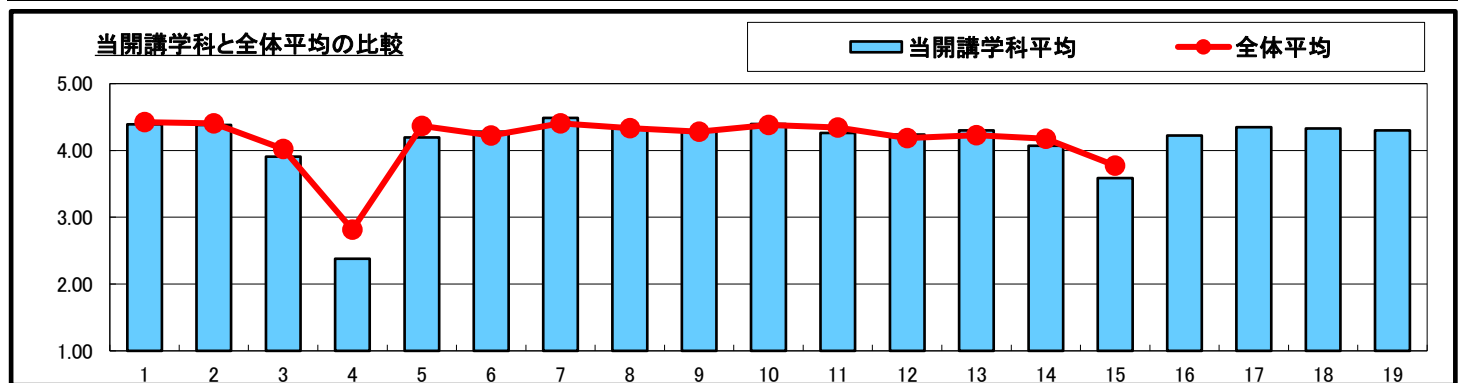
No.	設問文	平均	回答者数／構成比 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		

▼全学部共通の質問項目									
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.39	644 49.6	558 43.0	61 4.7	32 2.5	3 0.2	1,298	1
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.38	657 50.7	525 40.5	73 5.6	37 2.9	5 0.4	1,297	2
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	3.91	371 28.6	580 44.7	223 17.2	101 7.8	22 1.7	1,297	2

▼学部レベルの質問項目									
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	2.38	2時間以上 54 4.2	1時間以上 2時間未満 162 12.5	30分以上 1時間未満 347 26.7	30分未満 395 30.4	全くして いない 341 26.3	1,299	0
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.19	504 38.9	601 46.4	139 10.7	34 2.6	16 1.2	1,294	5
6	この科目の難易度は適切であった	4.28	551 42.6	610 47.2	87 6.7	37 2.9	8 0.6	1,293	6
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.49	756 58.3	455 35.1	55 4.2	23 1.8	7 0.5	1,296	3
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.34	637 49.2	515 39.7	99 7.6	34 2.6	11 0.8	1,296	3
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.30	676 52.4	424 32.9	113 8.8	57 4.4	20 1.6	1,290	9

▼教員個人レベルの質問項目									
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.40	709 54.7	453 35.0	85 6.6	37 2.9	12 0.9	1,296	3
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.26	604 46.6	508 39.2	116 8.9	57 4.4	12 0.9	1,297	2
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.24	623 48.1	460 35.5	129 10.0	65 5.0	19 1.5	1,296	3
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.30	607 46.8	528 40.7	111 8.6	42 3.2	8 0.6	1,296	3
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.07	483 37.3	522 40.3	209 16.1	60 4.6	21 1.6	1,295	4
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.59	十分に 読んだ 281 21.7	よく読んだ 524 40.5	どちらとも いえない 232 17.9	ほとんど 読まなかった 188 14.5	全く読んで いない 70 5.4	1,295	4

▼学科設問									
16	この授業の学修を通して、関連の資格にかかわる資質・能力を高めることができた	4.23	538 41.4	590 45.5	109 8.4	47 3.6	14 1.1	1,298	1
17	この授業の学修を通して、人間理解や対人援助に必要な実践や取組への理解を深めることができた	4.35	615 47.6	567 43.9	69 5.3	31 2.4	11 0.9	1,293	6
18	この授業の学修を通して、人間理解や対人援助に関わる理論や研究への関心を高めることができた	4.33	594 45.9	577 44.6	87 6.7	29 2.2	8 0.6	1,295	4
19	この授業の学修を通して、人間理解や対人援助に関わる技術やノウハウを身に付けることができた	4.30	577 44.6	590 45.6	79 6.1	35 2.7	14 1.1	1,295	4



2025 年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	心理教育学科
講評者	心理教育学科長 長屋 佐和子

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）やクラスサイズ（受講者数）については、全学に対するアンケート結果と同様に4点を超える良好な結果となった。草薙キャンパスの施設に対しては、総じて高評価であることが伺える。また、授業に参加している学生の熱意については、3.91点と高い評価となっている。これらのことから、学習環境については、概ね良好だと考えられる。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	学部レベルの質問項目によると、授業の難易度設定は適切であり、概ねシラバスに則った授業が展開されていることが高く評価されている。また、心理学の学びを深め、学生のキャリア形成や将来を考える上で有益であった点も評価された。その反面、授業外学修の時間については、全学と比較しても少ない傾向があるため、授業の予習・復習を促す取り組みが求められる。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	教員個人に対する質問項目では、板書やスライドなども適切で見やすく、話し方も明瞭で聞き取りやすいとの評価が得られている。また、学生の反応や理解度を確認しながら授業を行っていることが高く評価された。しかし、「シラバスを読んだか」といった質問に対しては3.59点に留まったことから、今後はガイダンス等でシラバスを確認した上で履修するよう指導する必要がある。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	本学科独自の設問は、学修を通して、人間理解や対人援助につながる資質・能力の獲得、実践・取り組みに対する理解、理論や研究への関心、対人援助の技能やノウハウが身についたか、といった内容で構成されている。これらすべての項目で4.30点以上の高い評価となり、本学科において、地域貢献や対人援助に活かすための心理学教育を目標に教育を実践した結果が反映されたと考えられる。